

## 第52回通常総会を開催しました。

令和2年5月20日

長野市内において、新型コロナウイルス感染症対策として規模を縮小し、会場内の間隔を広く取るなど、役員を中心に20人の出席により、第52回通常総会を開催しました。総会では、令和元年度の収支決算報告、令和2年度予算案及び役員改選などの議案審議が行われました。

議長には片井周一副会長が就任し、議案第1号から4号までの議案全てが承認されました。

議事に先立って高見澤秀茂会長は「協会加盟社が増加し87社となり、陸砂利の認可数量も若干の増加傾向が見受けられるようになった。平成は、公共投資から高齢者の医療費や介護など福祉へと大きく転換し、砂利等骨材需要も減少傾向であったが、昨今の台風災害等で緊急経済対策3か年事業、台風災害の復旧事業、南信のリニア及び関連事業等と、公共事業が大きく増額されたことを受けて、需要増が現れてきた。社会情勢は引き続き厳しく、ユーザーの需要に応え、雇用を担って、地域の地場産業として個々の企業が生き残ることは大変な苦労が予想される。コストを反映した適正な販売価格の水準の維持や、付加価値を見出した製品の販売、各地区組合による共販制度をしっかりと前面に出して、社会に必要とされる産業として後継者を育成し、会員各社が協調していくことが求められる。協会では、骨材の地産地消や県内の均衡のとれた公共事業の推進、また、原石の確保等業界の抱えている課題に対して各地区組合と連携して取り組みを進める。」と述べました。

議事終了後に行われた理事会で、新会長に選任された松田文治新会長は「前会長からバトンを引き継ぎ厳しい状況ではあるが精一杯務めていく。台風19号の河川災害を機に河川掘削が見直されており、河川砂利採取も進めていかなければならない。各地区の組合長とも協力、連携して砂利の確保に努める活動を進めていく。」と抱負を語りました。

また、同日に開催された長野県砂利碎石事業協同組合連合会の第50回通常総会において役員改選等が審議され、協会新役員が連合会役員に選任されました。

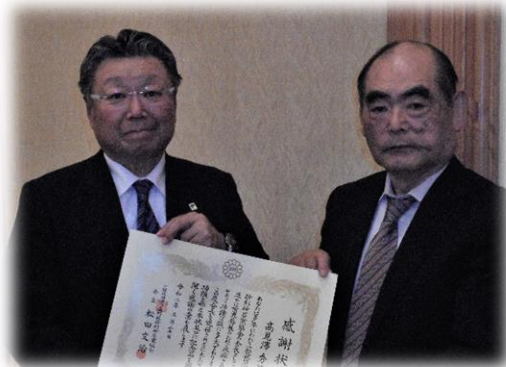


高見澤前会長



松田新会長

総会終了後には12年間にわたり会長を務め今限りで退任する、高見澤前会長へ松田新会長より感謝状が贈呈され、高見澤氏は、「副会長時代から18年間の長期にわたって会の運営を担ってこられたのは会員、関係機関、事務局のおかげである。」と謝辞を述べ、「協会が堅実に運営され、社会のためになるという役割を担うことを祈念している。」と語りました。



感謝状を手に、高見澤前会長（左）と松田新会長

#### 新役員（敬称略）

◇会 長 松田文治（松田建設株）

◇副会長 片井周一（株塩沢産業）、藤澤幸治（明科建材株）、丸山功一（一山土木工業株）

◇専務理事 高野義男（協会）

◇理 事 山野誠（丸共建設株）、大林吉明（株大林建材）、御子柴美樹夫（東亜興産株）、石田靖人（アテラ建材株）、丸山照二（北安陸送株）、郷津健（株姫川プラント）、田中秀幸（株田中光男商会）、勝山一成（豊野砂利株）、小橋浩樹（株ふるさと石産）、長竹恭幸（株長西）、高見澤秀茂（株高見沢）

◇監 事 菊池康剛（丸共建設株）、吉川篤（吉川工業株）、二山良一（株フルオカ）、小田孝志（株池田商事）、清沢文好（学識経験者）

◇顧 問（長野県議会議員） 佐々木祥二、萩原 清、平野成基、丸山栄一

◇参 与 宮下一義（信濃建材株）、藤田兼治（有オウケン）、太田純雄（株大系）、横田誠司（中部興業有）、山川和夫（須坂商事有）、藤澤紫野（藤澤建材株）

#### 本年度の協会長表彰受賞者

○特別功勞表彰 太田純雄さん（大北骨材事業協）、市瀬美千代さん（飯伊砂利採取販売協）

○勤勞賞 宮尾茂徳さん（株ふるさと石産）